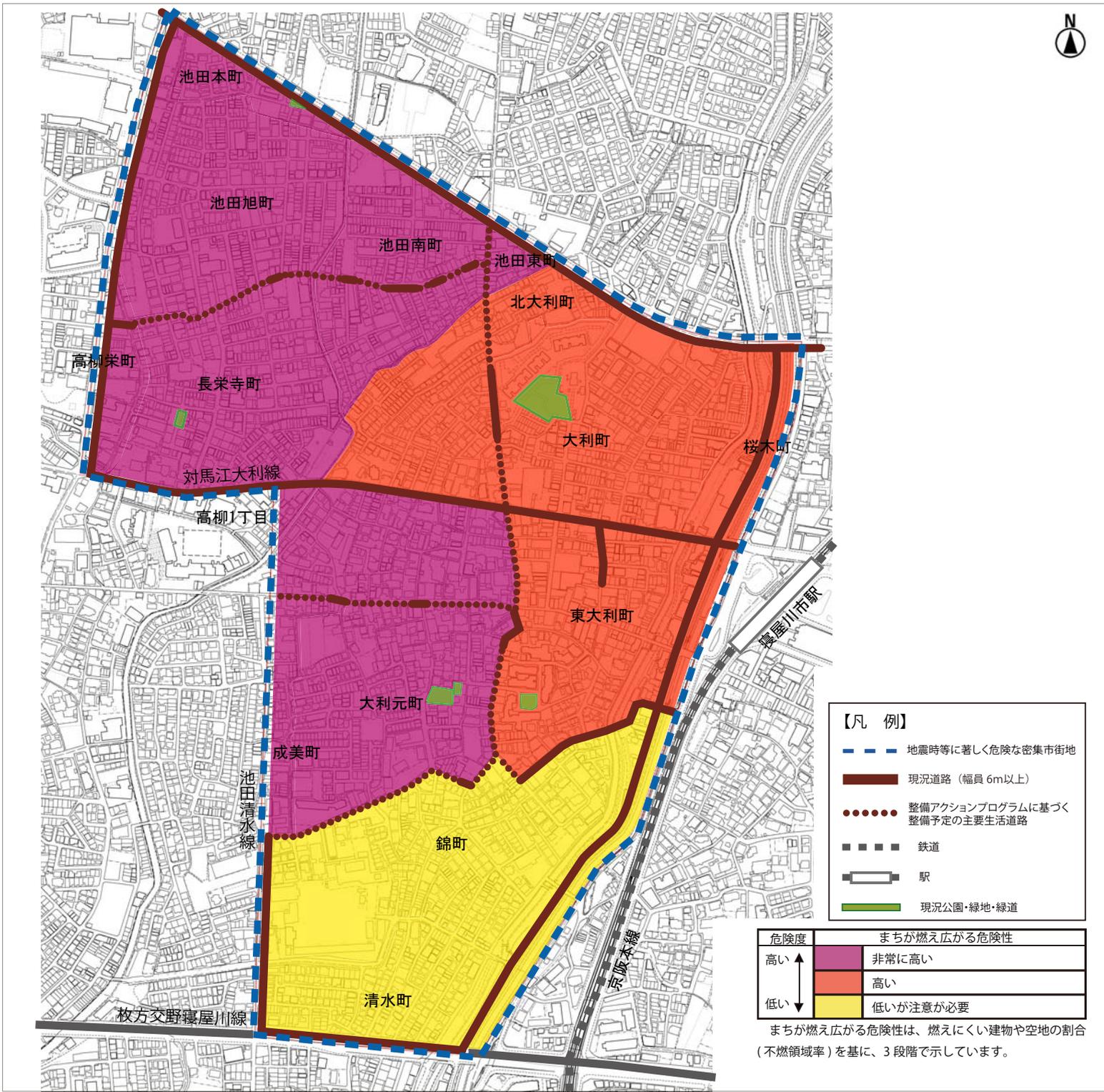


密集市街地まちの防災性マップ～燃え広がりにくさマップ～

寝屋川市 池田・大利地区



密集市街地まちの防災性マップとは

このマップは、密集市街地のうち重点的に改善を図る地区である「地震時等に著しく危険な密集市街地」において、地震時等の火災によって「まちの燃え広がる危険性」を町丁目単位で示したものです。

この地区では、各自治会長からなる「池田・大利地区まちづくり協議会」において、市と協働して事業計画を立てて、道路の拡幅等の事業を推進しています。

また、この地区内では地区計画により、新築、建替えなどを行う場合は、燃えにくい建物（耐火、準耐火建築物）にしていただき、『燃えにくいまち』になるよう誘導してまいります。交通や生活の利便性、地域コミュニティを活かして、住みやすい・住み続けたいまちにするため、地域の安全・安心にご協力お願いいたします。

「密集市街地まちの防災性マップ」の色の違い

下記は「密集市街地まちの防災性マップ」の色分けについて、まちが燃え広がる危険性をイメージしたものです。特に地震時は、火災が同時多発的に発生することや、家屋の倒壊等により、消防活動が困難になることも考えられるため、注意が必要です。

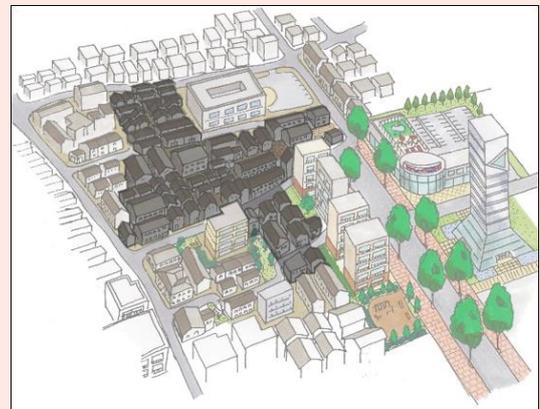
非常に高い

- 古い木造住宅が密集しており、狭い道路が多く、公園や空地などがほとんどない。
- 広幅員道路や主要生活道路、公園のほか、学校などの燃えにくい建物が少ないため、広い範囲に燃え広がる危険性が非常に高い。



高い

- 古い木造住宅の建替えや公園、主要生活道路のほか、一部で広幅員道路の整備が進み、その沿道ではマンションなどの燃えにくい建物の建設も行われている。
- 広幅員道路の整備やマンション等の建設が進んでいる地域では、延焼が食い止められるが、古い木造住宅の密集地域では、依然として燃え広がる危険性が高い。



低いが必要

- 公園や広幅員道路の整備とともに、古い木造住宅の建替えにより、マンションなどの燃えにくい建物も建ち並んでいる。
- 広幅員道路やマンションなどの建物により延焼が食い止められ、大規模火災にはなりにくいですが、一部で古い木造住宅が残っており、燃え広がる危険性があるため注意が必要。



■ : 延焼の恐れがある範囲

□ 阪神大震災時の長田区の被害状況〔焼失面積：約70ha (甲子園球場約17.5個分)〕



災害に対する備え

いざ災害が起きた時にあわてずに避難するために、避難場所、避難経路を事前に確認しておきましょう。また、避難時に通行の妨げにならないよう、日頃から避難経路に物（植木や自転車など）を置かないように心がけましょう。